

## はじめに



今日の私たちが享受している便利で快適な生活は、石油、石炭、天然ガスなど化石燃料の大量消費によって支えられています。しかし、これらの化石燃料は限りある資源であって、その枯渇が懸念されています。また、二酸化炭素の排出が起因とされる地球温暖化問題は、21世紀において国際的にも差し迫った重要な課題となっています。

このようなことから、地球温暖化防止のための京都議定書が発効してから1年が経過し、二酸化炭素など温室効果ガスの排出量の抑制・削減に向けた取り組みが加速しようとしています。京都議定書の目標達成を第一歩として持続可能性の高い循環型社会システムを実現するためには、省エネルギーや資源リサイクルの強化とともに、環境負荷の少ないエネルギーの導入を積極的に進めていく必要があります。

環境負荷の少ない新エネルギーとして期待されるものには、太陽光、バイオマス、風力などの自然エネルギーの他さまざまな種類があります。これらはいずれも地域の潜在的なエネルギーで、その導入に当たっては、地域の特性に適した取り組みが求められています。

下諏訪町は湖と山々に囲まれ豊かな水と緑に恵まれています。また、日照時間が長く、さらに温泉資源にも恵まれています。

この豊かな自然エネルギー資源の賦存量、エネルギー消費量、導入可能性などの地域特性について調査し、環境負荷の少ない新エネルギーの導入についてとりまとめました。

本ビジョンを新エネルギー導入の指針として、下諏訪町の豊かな自然を守り、自然と共生した環境にやさしいまちづくりを実現するため、省エネルギーやリサイクルの推進とともに、住民、事業者と連携、協力して、地域特性を活かした新エネルギー導入に取り組んでまいります。

ビジョン策定にあたり、ご指導、ご支援を賜りました下諏訪町地域新エネルギービジョン策定委員の皆様には深く感謝申し上げますとともに、今後ともご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成18年2月

下諏訪町長 青木 悟